第64回セメント技術大会

~ プログラム ~

日 時: 2010年5月25日(火) (9:00~17:15)

26日(水) (9:00~16:30)

論文賞表彰式 (13:15~14:45)

特別講演 (15:00~16:30)

懇親会 (17:30~19:00)

5月27日(木) (9:00~17:00)

基調講演 (12:15~13:45)

会 場: ホテルメトロポリタン

聴 講: 無料(受付にて入場確認をさせていただきます)

講演,

要 旨: 1部 5,000円

○事前販売もいたします(詳しくは21ページ)

※本大会は、「土木学会認定CPDプログラム」です

社団法人セメント協会

東京都中央区八丁堀 4 丁目 5 番 4 号 ダヴィンチ桜橋 7 階
104-0032 TEL. 0 3 - 3 5 2 3 - 2 7 0 1

研究所

東京都北区豊島4丁目17番33号

■ 114-0003 TEL. 0 3 − 3 9 1 4 − 2 6 9 2 (技術情報グループ)

第64回セメント技術大会 研究発表スケジュールおよび司会者一覧

〔敬称略〕

開催日	会場	9:00 9:30 10:00	10:30	11:00 11:30	12:00	12:30	13:00 1	13:30	14:00	14:30	15:00) 15:	:30 16:0	00 16:	30 17	:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00
	第1会場 3 階 富士ABC	(6件) 休 No. 1101~1106 期京大学 野口 貴文 憩 東		塩害・鋼水 (7件 No. 1107- 東京大学 野 宇部興産㈱ 大) ~ 1113 [:] 口 貴文				収縮 ひび割れ (7件) No. 1114~1120 東京大学 岸 利治 三菱マテリアル㈱ 中山 英明		英明	休憩	収縮,ひび割れ (7件) No. 1121~1127 東京大学 岸 利治 三菱マテリアル(株) 中山		I 127 利治							
大会 1日目 5月25日 (火)	第2会場 3 階 富±D	高強度コンクリート・ コンクリート製品 (5件) No. 1201~1205 住友大阪セメント(株) 鈴木 宏 BASFボグリス(株) 菅俣 匠		高強度コンクリート・ コンクリート製品 (5件) No. 1206~1210 で大阪セメント(株) 鈴木 宏信 ASFボクリス(株) 菅俣 匠	委員会報告セメント系国代事情報を表現しています。	昼休み	No 東京農	ンクリート舗 (5件) o. 1211~121 業大学 小粱 等専門学校	15 婴川 雅	休憩東京農	コンクリート (4件) No. 1216~	· 1219 小梁川 雅 専門学校	休憩	ポーラスコ (6f No. 1220 友大阪セメント (㈱トクヤマ	牛))~1225 ㈱ 小林 哲ラ	夫 ————————————————————————————————————						
	第3会場 3 階 カシオペア	セメントの水和 (6件) No. 1301~1306 日本大学 三五 弘。 宇部興産㈱ 丸屋 英		セメント,モルタルの (7件 No. 1307- 日本大学 三 宇部興産(株) う) ~ 1313 五 弘之			群馬	耐久性(<i>j</i> (5件) No. 1314~ 大学 半井 コンサルタン) ~1318	休憩	No. 1 東京大学	/クリート,その他 (5件) 1319~1323 学 石田 哲也 シト(株) 河野 克									
大会 2日目 5月26日 (水)	第1会場 3 階 富士ABC	No. 2101~2104	を員会報告 休コンクリート 専門委員会 憩	製造技術,その他 (5件) No. 2105~2109 太平洋セメント(株) 進藤 宇部興産(株) 藤本 昌	拓也	昼休み		セメン	15~14:45 協会会長挨拶 文賞表彰式		休	15:00~16:30 特別講演		(会場	(会場設営)		17:30~19:0 懇親会					
	第2会場 3 階 富士D	環境 (5件) No. 2201~2205 三菱マテリアル(株) 田中 久川 (株トクヤマ 松尾 哲也	(5件) 休 (5件) No. 2201~2205 三菱マテリアル㈱ 田中 久順					《受賞者記念講演		憩地	地図の上で考える日本の自然と社会と文化 財団法人日本地図センター 理事長 野々村 邦夫 氏		(A WINE)									
	第3会場 3 階 カシオペア	耐久性(化学的浸食・ (6件) No. 2301~2306 芝浦工業大学 伊代田 三菱マテリアル㈱ 田原	岳史 憩	耐久性(凍結融解 (4件) No. 2307~2310 埼玉大学 浅本 晋 宇部興産㈱ 高橋 侈	哲																	
大会 3日目 5月27日 (木)	第1会場 3 階 富士ABC	No. 3101~3104	No. 31 No. 31 北海道大学 住友大阪	行技術 1件) 05~3108 胡桃澤 清文 反セメント㈱ 拓男	休み	セメント・コンクリ スイス ローサ		折の応用	憩	分析技 英語セッション No. 3109~ 金沢大学 五十 エ平洋セメント(株)	(5件) 3113 嵐 心一	休憩	分析打 英語セッショ No. 3114 金沢大学 五 太平洋セメント修	ン(4件) ~3117 十嵐 心一	16:30~17:00 意見交換 総括							
	第2会場 3 階 富士D	骨材,リサイクル,その他 (5件) No. 3201~3205 名古屋大学 丸山 一平 新日鐵高炉セメント㈱ 植木 身		リサイクル,その他 (5件) No. 3206~3210 名古屋大学 丸山 一平 鐵高炉セメント㈱ 植木 康知																		
	第3会場 3 階 カシオペア	No. 3301~3304	木 (流: No. 憩 琉球大	シュコンクリート 動性) (5件) 3305~3309 学 山田 義智 メント㈱ 小田部 裕一																		

備考(1)時間帯は、概略の時刻を示しております。発表は、1件当たり4分間の質疑応答を含め、14分間の予定です。

⁽²⁾ それぞれのセッションのテーマ名は、発表内容の概要を示したもので、プログラム編成上の都合により、発表内容と一致しない場合があります。

第2会場(3階富士D)

〔注:○印は講演者, *印は「セメント協会研究奨励金」関連研究を示す。〕

9:00~10:30 研究発表 1101~1106

〔塩害・鋼材腐食〕

1101. CaO・2Al₂O₃を混和したセメント硬化体の塩化物イ オン固定化能力

電気化学工業㈱ 〇田 原

山 本 賢 実 選 異

和

1102. セメント種類の違いがコンクリートの塩化物イオン 浸透性に及ぼす影響

日本大学大学院 〇高 橋 英 孝 日本大学生産工学部 湯 浅 昇 琉球大学工学部 山 田 義 智

1103. フライアッシュの混和が塩化物イオン拡散に与える影響

愛媛大学大学院 ○谷 吉泰 岡崎慎一郎 氏家 勲

1104. 混和材混合セメント硬化体における塩化物イオンの 物理吸着のモデル化

> 北海道大学大学院 ○岩 浅 瑛 大 福 島 浩 樹 Yogarajah ELAKNESWARAN

名 和 豊 春

1105. シリカフュームコンクリートの塩分浸透抵抗性向上のメカニズムに関する基礎的研究

新潟大学工学部 原 首. 新潟大学大学院新潟大学工学部 須 \mathbb{H} 裕 哉 佐 伯 竜 彦 住友大阪セメント㈱ 嶋 毅

1106. 超高強度コンクリートの鉄筋腐食抵抗性に関する研究

三菱マテリアル(株) 中 正 〇石 石 良 太 白 明 中 Щ 英 鳴 浩 瀬 康 9:00~10:15 研究発表 1201~1205

〔高強度コンクリート・コンクリート製品〕

1201. 高強度セメント硬化体への高性能減水剤とシリカフュームの影響

日本大学理工学部 〇佐 藤 正 己 小 泉 公志郎 梅 村 靖 弘

*1202. 超低水セメント比セメントペーストの強度発現・膨 張収縮

日本大学生産工学部 〇湯 浅 昇 友 澤 史 紀 笠 井 芳 夫

1203. 膨張材・収縮低減剤による超高強度コンクリートの収縮制御

 太平洋セメント㈱
 ○中 崎 豪 士 平 崩 堀 伸 平 平 谷 裕 二 充

1204. 自己充填コンクリートによるコンクリート管の製造技術に関する一検討

住友大阪セメント㈱ ○安 久 憲 一 竹 津 ひとみ 栗本コンクリート工業㈱ 松 井 繁 憲 章

1205. フェロニッケルスラグ細骨材を用いた超高強度モルタルの物性に関する一検討

〈休憩 10:30~10:45〉

*

〈休憩 10:15~10:30〉

9:00~10:30 研究発表 1301~1306

[セメントの水和]

*1301. ポルトランダイト及びエトリンガイトの重水素化物 の合成と評価

> 龍谷大学理工学部 〇中 森 寛 白 神 達 也

1302. セメント硬化体の自己相関関数とフラクタル次元

 北海道大学大学院
 ○青 山 琢 人 胡桃澤 清 文 出 見 嗣 名 和 豊 春

1303. エーライトが生成するC-S-Hの組成変化に関する検討

新潟大学大学院 〇須 田 裕 哉 新潟大学工学部 佐 伯 竜 彦

1304. C-S-Hの構造形成挙動に関する基礎的研究

 北海道大学大学院
 ○服
 部
 廉
 太
 輔
 卓
 春
 和
 豊
 春

1305. 低水比セメント硬化体の水和におけるケイ酸構造の影響

日本大学理工学部 〇小 泉 公志郎 佐 藤 正 己 梅 村 靖 弘 露 木 尚 光

1306. 放射光その場X線回折によるトバモライト生成過程 への珪酸質原料溶解性とAI³⁺添加の影響

> 旭化成建材(株) 〇松 井 久仁雄 小 川 晃 博 旭化成(株) 松 野 信 也 菊 間 淳

〈休憩 10:30~10:45〉

第2会場(3階富±D)

10:45~12:30 研究発表 1107~1113

〔塩害・鋼材腐食〕

1107. 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの塩化物イオン実効拡散係数に関する実験

日鐡セメント㈱ 〇小 倉 東 有 賀 美樹雄 星 俊 彦 アフジコンサルタント㈱ 松 岡 義 博

1108. 電気抵抗率から推計した塩化物イオン拡散係数の含 水率依存性

> 東北大学大学院 〇皆 川 浩 榎 原 彩 野 齊 藤 佑 貴 久 田 真

*1109. 酸素および塩化物イオンの拡散係数による物質移動 性状の評価

新潟大学大学院 ○菊 地 道 生 須 田 裕 哉 哉 田 裕 哉 哉 馬大学工学部 笠 原 俊 亮 佐 伯 竜 彦

1110. 若材齢時の炭酸化がモルタルの酸素拡散係数の深度 分布に及ぼす影響

> 群馬大学工学部 〇横 塚 清 規 群馬大学大学院 李 春 鶴 半 井 健一郎

1111. 高速道路橋における床版および壁高欄の塩化物イオン浸透予測に関する研究

中日本高速道路㈱ 〇桑 原 伸 夫 日本大学理工学部 梅 村 靖 弘

1112. 熱力学的相平衡-Multi-species物質移動連成モデルを 用いた塩害と中性化による複合劣化作用の再現

太平洋セメント(株) 〇細 川 佳 史

1113. 侵入物質との化学反応を伴うコンクリート劣化の速度論

北海道大学 ○市 川 恒 樹 太平洋セメント㈱ 細 川 佳 史 10:30~11:45 研究発表 1206~1210

[高強度コンクリート・コンクリート製品]

1206. 高温履歴後の養生条件が高炉スラグ微粉末を添加したセメントの水和に及ぼす影響

太平洋セメント(株) 〇久 我 龍一郎 森 寛 晃 高 橋 晴 香 鵜 澤 正 美

1207. 養生温度と湿度が高炉セメント中のスラグ微粉末の 反応に与える影響

芝浦工業大学工学部 〇伊代田 岳 史 松 崎 晋一朗

藤 間 祐 輔 新日鐵高炉セメント(株) 大 塚 勇 介

1208. 高炉スラグ高含有セメントの長期水和反応

東京工業大学大学院 齋 剛 ㈱竹中工務店 池 尾 陽 作 東京工業大学大学院 Ш 兀 直 坂 井 悦 郎

1209. 比表面積の異なる高炉スラグ微粉末コンクリートの耐久性について

足利工業大学工学部 〇横 室 隆 宮澤 祐介

1210. 45年間水中養生した高炉セメントコンクリートの強度発現性について

新日鐵高炉セメント(株) 〇植 木 康 知 大 塚 勇 介 檀 康 弘

11:45~12:05 委員会報告 セメント系固化材技術専門委員会

〈休憩 12:30~13:30〉

*

〈昼休み 12:05~13:00〉

10:45~12:30 研究発表 1307~1313

〔セメント, モルタルの性質と物性〕

1307. クリンカー鉱物組成およびセメントの強度発現性に及ぼす TiO_2 と P_2O_5 の影響

1308. C-S-Hの物理的性質の評価

新潟大学大学院 〇田 中 洋 介 須 田 裕 哉 新潟大学工学部 佐 伯 竜 彦

1309. セメント硬化体における体積弾性率の平衡相対湿度 依存性

1310. 中庸熱ポルトランドセメントペースト硬化体の弾性 波速度の推定

東北学院大学工学部 〇遠 藤 孝 夫 本 相 動

1311. セメントペーストの吸脱着性状に及ぼす温度の影響 に関する研究

 中央大学理工学部
 ○市 川 智 子 大 下 英 吉 日本ベル(株)

 中 井 和 之

1312. 異なる乾燥条件におけるC-S-Hの赤外吸収スペクトル

名古屋大学大学院 \bigcirc 丸 山 - 平 五十嵐 豪日本原子力研究開発機構 \ominus 口 貴 士

1313. 中性子を用いたコンクリートの含水率分布の測定

 日本大学生産工学部
 ○湯
 浅
 昇

 東京理科大学理工学部
 兼
 松
 学

 東京大学大学院
 土
 屋
 直
 子

 日本大学生産工学部
 笠
 井
 芳
 夫

〈昼休み 12:30~13:30〉

第2会場(3階富士D)

13:30~15:15 研究発表 1114~1120

〔収縮, ひび割れ〕

1114. 収縮低減機能を有する各種減水性混和剤によるコンクリートの収縮ひずみの低減効果に関する一実験

大林組技術研究所 〇近 松 竜 一 桜 井 邦 昭

1115. 各種収縮低減剤を使用したコンクリートの基本性状 の把握

> 住友大阪セメント㈱ 〇山 田 一 徳 中 村 士 郎 鈴 木 宏 信 岡 本 英 明

1116. 乾湿繰り返しによるセメント硬化体の収縮・膨張挙動

北海道大学大学院 ○福 島 浩 樹 石 森 正 俊 胡桃澤 清 文 名 和 豊 春

1117. フライアッシュを混和したモルタルの収縮特性と空隙構造に関する研究

埼玉大学工学部 ○辻 貴 大 埼玉大学大学院 浅 本 晋 吾 関間力中央研究所 蔵 重 勲

1118. コンクリートの乾燥収縮ひずみに影響する粗骨材の種類およびコンクリートの細孔分布

九州共立大学工学部 〇高 山 俊 一 宮崎大学工学部 村 中 謙 介

*1119. 吸着液体の特性に依存するセメント系多孔質体材料 の体積変化

> 埼玉大学大学院 ○浅 本 晋 吾 埼玉大学工学部 宮 腰 良 太 旭化成建材㈱ 松 井 久仁雄

1120. 水蒸気吸着BET一点法によるコンクリートの比表面 積と収縮ひずみの関係

東京理科大学大学院 〇清 水 基 博 今 本 啓 一 断日本建築総合試験所 荒 井 正 直

13:00~14:15 研究発表 1211~1215

〔コンクリート舗装〕

1211. 舗装用スリップフォームコンクリートのフレッシュ性状評価に関する研究

 鹿島道路㈱
 ○佐藤 聡 明 神 下 竜 三 鎌 田 修 坂 本 康 文

1212. 高耐久・高強度舗装用コンクリートを対象とした基礎的研究

太平洋セメント㈱ ○岡 野 智 哉 藤 田 仁

早川隆之 概 尾 彫

1213. 舗装用コンクリートの強度に関する一検討

1214. エコセメントおよび再生粗骨材の舗装用超硬練りコンクリートへの適用性

首都大学東京大学院 〇木 村 順 哉 上 野 敦 宇 治 公 隆

太平洋セメント㈱ 梶尾 聡

1215. ホワイトトッピング構造の耐久性に関する検討

住友大阪セメント㈱ 〇竹 津 ひとみ 石川工業高等専門学校 西 澤 男 辰 大阪市立大学名誉教授 優 Ш H 鹿島道路㈱ 加 形 護

〈休憩 15:15~15:30〉

*

〈休憩 14:15~14:30〉

13:30~14:45 研究発表 1314~1318

〔耐久性 (ASR)〕

1314. アルカリ骨材反応の迅速判定法に関する研究

太平洋セメント㈱ ○関 野 一 男 日本大学理工学部 露 木 尚 光 太平洋セメント㈱ 吉 本 稔

*1315. 近赤外分光法によるASRの検出に関する検討

 徳島大学大学院
 ○松 本 義 章

 上 田 隆 雄

 ㈱フジタ建設コンサルタント
 山 本 晃 臣

 郡 政 人

1316. ASR反応性骨材と石灰岩を混合したモルタルの膨張 挙動

> 愛知工業大学工学部 〇岩 月 栄 治 森 野 奎 二

1317. 各種フライアッシュの化学特性がASR抑制効果に及ぼす影響

剛電力中央研究所 ○山 本 武 志

1318. エトリンガイトの遅延生成による膨張メカニズムに関する実験的研究

〈休憩 14:45~15:00〉

第2会場(3階富±D)

15:30~17:15 研究発表 1121~1127

〔収縮, ひび割れ〕

1121. 高炉セメントと石灰石骨材を使用したコンクリート の各種性状に関する研究

三菱マテリアル(株) ○白 石 良 太明 中 山 英 明 剛 雅 浩 康

1122. 高炉スラグ微粉末を用いたモルタルの乾燥収縮特性 に及ぼすスラグ粉末度と乾燥開始材齢の影響

> 室蘭工業大学大学院 ○渡 邉 詩穂子 濱 幸 雄 大 軌 日鐵セメント(株) 佐 川 孝 広

1123. 高炉セメントを使用したモルタル・コンクリートへ の新規収縮低減剤の適用

 (株)日本触媒
 ○正 長 眞 理 福 原 広 二

 北海道大学大学院
 名 和 豊 春

1124. 収縮低減を目的とした高炉セメント使用コンクリートの諸性状

住友大阪セメント(株) 〇西 元 央 齋 藤 尚 鈴 木 康 範 小 林 哲 夫

1125. 高炉スラグ微粉末を使用したコンクリートのニオイセンサによる乾燥収縮ひずみおよび養生効果の検討

秋田大学工学資源学部 ○城 門 義 嗣 加賀谷 誠 秋田大学大学院 陽 布 施 介 秋田大学工学資源学部 齋 藤 憲 寿

1126. 鉄鋼スラグ水和固化体を用いたRCはりの収縮ひび割れに関する研究

 岡山大学大学院
 ○尾
 関
 唯
 中
 史
 宏
 大
 久
 宏
 宏
 表
 五
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元
 元

1127. イオン交換能に着目したゼオライトと膨張材の併用 によるセメントの耐ひび割れ性能向上に関する検討

> 中央大学理工学部 〇丹 羽 浩 介 大 下 英 吉

> > (終了 17:15)

14:30~15:30 研究発表 1216~1219

〔コンクリート舗装〕

1216. 再生骨材RCCPに関する研究

1217. 車道用ポーラスコンクリートによる薄層付着型オーバーレイ試験舗装結果

1218. 超高強度コンクリート用材料を用いた舗装用ポーラスコンクリートの研究

太平洋セメント(株) 〇梶 尾 聡 牧 隆 輝 香春鉱業(株) 早 川 隆 之

1219. フィニッシャで施工した砕石粉混入透水性コンクリートの締固め密度評価の検討

近畿大学大学院 〇柏 木 洸 一近畿大学理工学部 麓 隆 行

〈休憩 15:30~15:45〉

15:00~16:15 研究発表 1319~1323

〔特殊コンクリート, その他〕

1319. CPCボックスカルバートの解析方法の一提案

電気化学工業㈱ ○栖 原 健太郎 群馬大学大学院 辻 幸 和 電気化学工業㈱ 芦 田 公 伸

1320. 構造拘束を受けるCPC部位の応力解析に関する一考察

1321. コンクリートの引張強度に及ぼす押し抜き型枠の上下端の影響と圧力幅

足利工業大学工学部 〇松 村 仁 夫 黒 井 登起雄

1322. 新旧コンクリート接合部のせん断抵抗性能に関する 基礎的研究

> 愛知工業大学工学部 〇山 田 和 夫 愛知工業大学大学院 関 俊 力 ㈱竹中工務店 瀬 古 繁 喜

1323. TiO₂系光触媒を用いた機能性コンクリートの基礎的な研究

第2会場(3階富士D)

15:45~17:15 研究発表 1220~1225

[ポーラスコンクリート]

1220. 粒径の異なる骨材を使用した牡蠣殻ポーラスコンクリートの基礎特性

具工業高等専門学校 ○堀 口 至 三 村 陽 -

1221. 高空隙率セメント系材料の変形吸収過程における大変形挙動

横浜国立大学大学院 〇夏 目 貴 之 椿 龍 哉

1222. 天然ゼオライト混和ポーラスコンクリート複合平板の曲げ強度とクエン酸抵抗性

 秋田大学工学資源学部
 ○徳 重 英 信

 秋田大学大学院
 亀 島 博 之

 秋田大学工学資源学部
 川 上 洵

 福田ヒューム管工業(株)
 鈴 木 弘 実

1223. 繊維補強ポーラスコンクリートの藻場復元材料への適用

熊本大学大学院 〇武 田 浩 二 村 上 聖

内藤海

熊本高等専門学校 浦 野 登志雄

1224. ポリプロピレン短繊維がコンクリートのじん性に及 ぼす影響

岡山大学大学院○藤 井 隆 史
綾 野 克 紀
大 島 章 弘
石 井 あきな

1225. 収縮抑制型超速硬鋼繊維補強コンクリートの基礎的 性能

 太平洋セメント(株)
 ○藤田 展 尾 下窓
 仁 聡 徳 徳 輝

(終了 17:15)

第**2**会場(3階富士D)

9:00~10:00 研究発表 2101~2104

[セメント系補修材]

2101. Effect of Various Carbonates on the Crack Selfhealing Behavior of Cementitious Materials

> 東京大学生產技術研究所 利

2102. 無機系ひび割れ補修材を用いた漏水防止効果に関す る基礎研究

> 東京大学生産技術研究所 戸 太卓 部 東京都特別区墨田区役所 良 東京大学大学院 ○森 \mathbb{H} 利 東京大学生産技術研究所 治

2103. ひび割れの自己治癒機構に関する基礎的検討

住友大阪セメント(株) ○佐 藤 阜

小 出 貴 夫 小田部 裕

東京大学生産技術研究所 利 治

2104. 自己治癒コンクリートの漏水防止性能の評価方法に 対する一考察

> 栗田淑乃 横浜国立大学大学院

細 田 暁 ○小日山 喬

10:00~10:30 委員会報告

コンクリート専門委員会

9:00~10:15 研究発表 2201~2205

2201. コンクリート解体材の屋外暴露における微量成分の 溶出特性

> ○片 平 土木研究所 渡辺 博志

2202. クロム酸イオンを含むAFm相の溶解挙動

○大 日本大学理工学部 宅 之郎 五. 弘 坂 悦 東京工業大学大学院 井

2203. 再生骨材から溶出する6価クロムの溶出試験方法の 検討 その1 不溶残分と6価クロムの溶出

土木研究所 ○森 濱 和 正 辺 志 渡 博

2204. 高炉スラグ高含有セメントによる六価クロムの固定

東京工業大学大学院 ○依 侑 忇 \mathbb{H} 坂 井 悦 郎

場

2205. 熱加水分解法によるセメント諸原料中のふっ化物定量

(株)太平洋コンサルタント ○野 \Box 成

丸 \mathbb{H} 久敏 俊 山梨大学大学院 木 羽 信

山梨大学教育人間科学部 Щ 根 兵

〈休憩 10:30~10:45〉

〈休憩 10:15~10:30〉

9:00~10:30 研究発表 2301~2306

[耐久性(化学的浸食·溶脱)]

2301. 無機酸による各種セメント硬化体の劣化反応の解析

2302. 混和材の混入が下水道用モルタルの耐硫酸性に及ぼす影響

広島工業大学大学院 ○高 野 修 壮 亜州夫 広島工業大学工学部 米 倉 伊 藤 秀 舯 大広エンジニアリング(株) 修 Ш 本 照

2303. 耐硫酸性プレキャストコンクリート製品の目地材および補修材

2304. 耐硫酸塩抵抗性試験に及ぼすモルタル供試体の形状の影響

岩手大学工学部 〇窪 山 篤 柴 原 崇 人 羽 原 俊 祐 小山田 哲 也

2305. モルタルの塩類風化に及ぼす細孔構造および引張強度の影響

側日本建築総合試験所 ○吉 田 夏 樹 良 夫 松 浪 勝 永 Ш 悦 東京工業大学大学院 坂 井 郎

2306. 温度変化を考慮した熱力学的相平衡と物質移動の連成モデルによる硫酸塩浸透シミュレーション

太平洋セメント(株) ○北 澤 健 資 細 川 佳 史 鵜 澤 正 美

〈休憩 10:30~10:45〉

第2会場(3階富士D)

10:45~12:00 研究発表 2105~2109

〔製造技術, その他〕

2105. 実機クリンカーの冷却速度の推定および冷却速度がセメントの品質へ及ぼす影響

三菱マテリアル(株) ○山 下 牧 生 古 賀 康 男 田 中 久 順 市 原 克 彦

2106. 『ハイブリッドバイパス®』技術の開発

2107. 中国セメント業におけるCO。排出削減可能性の調査

東北大学大学院 ○張 文 字 ディニル ブシュパラール

2108. エココンクリートによる小中学生への環境教育に関する研究

立命館大学理工学部 〇友 田 千 裕 岡 本 享 久 竹 内 正 喜

2109. セメント硬化体の楽音における音響性能評価

名古屋大学大学院 横浜ゴム㈱ 倉藤 幸 \bigcirc \land 直 勇 人 加 立命館大学情報理工学部 森 勢 将 雅 立命館大学理工学部 岡 本

10:30~11:45 研究発表 2206~2210

〔混合材〕

2206. フライアッシュおよび高炉スラグ微粉末を用いた低炭素型コンクリート

住友大阪セメント(株) ○鈴 木 康 久司 (株)中研コンサルタント 中 Ŀ 朔 香川大学工学部 堺 孝 ㈱間組 家 武 松 樹

2207. 蒸気養生したフライアッシュモルタルの強度に及ぼす温度履歴の影響

日本大学大学院 日本躯体工事(株) → 八 江 正 明 日本大学理工学部 → 泉 公志郎 梅 村 靖 弘

2208. フライアッシュバルーンを用いたケイ酸カルシウム 水和物系軽量固化体の水熱合成

> 東京工業大学大学院 ○大 塚 拓 (株)ミサワホーム総合研究所 三 田 卓 (株)ジェイペック 矢 島 典 明 東京工業大学大学院 坂 井 悦 郎

2209. コロイダルシリカ添加によるセメント硬化体の物性 改善に関する検討

太平洋セメント(株) ○森 寛 晃 久 我 龍一郎 高 橋 晴 香 鵜 澤 正 美

2210. フライアッシュを大量に用いたエコ煉瓦開発に関する調査

〈昼休み 12:00~13:15〉

*

〈昼休み 11:45~13:15〉

第1·2会場(3階富士ABCD)

10:45~11:45 研究発表 2307~2310

〔耐久性(凍結融解)〕

2307. 凍結融解試験方法に関する液化窒素を用いた簡易急 速化の試み

> 徳島大学大学院 〇橋 本 親 典 渡 辺 懶

渡辺、健輔

㈱明治産業 池端大地

2308. コンクリートのスケーリング劣化に及ぼす凍結防止剤の種類の影響

岩手大学工学部 〇高 橋 拓 真

小山田 哲 也 祐

高橋幸平

2309. 凍結防止剤によるスケーリング劣化の抑制に関する 一検討

住友大阪セメント㈱ ○柴 田 駅 松 本 公 -

公哲裕公十夫之

東栄コンクリート工業㈱新田裕之

2310. 異なる気候環境下で暴露したモルタルの細孔構造と耐凍害性の関係

室蘭工業大学大学院 〇澁 谷 将濱 幸 雄

新 大 軌 岸 本 嘉 彦

13:15~14:45 セメント協会会長挨拶 論文賞表彰式 論文賞受賞者記念講演

〈休憩 14:45~15:00〉

15:00~16:30 特別講演 地図の上で考える日本の自然と社会と文化

> 財団法人日本地図センター 理事長 野々村 邦夫 氏

(終了 11:45)

第2会場(3階富士D)

9:00~10:00 研究発表 3101~3104

[コンクリートの診断・補修]

3101. コンクリートの熱伝導特性に及ぼす各種要因の影響

爱知工業大学工学部 〇関 俊 力 山 田 和 夫

3102. 純ねじり条件下におけるRFIDひずみセンサの有用性評価

立命館大学大学院 立命館大学理工学部 前田 祐 助 岡本享久 太平洋セメント(株) 11里口 玲

3103. コンクリートの透気係数が受ける外部湿度変化及び含水率の影響に関する研究

愛媛大学大学院 〇中 村 翼

3104. ポリマーセメント系塗膜防水層の養生環境に起因するセメントの水和率の違いが力学的性質に与える影響

東京工業大学 〇塚 越 雅 幸 鴻 上 嘉 延 田 中 享 二 9:00~10:15 研究発表 3201~3205

〔骨材, リサイクル, その他〕

3201. 高ビーライト系セメントを使用したコンクリートの 温度ひび割れ抵抗性に関する検討

三菱マテリアル(株) 〇佐々木 憲 明

烟台三菱水泥有限公司 中村俊彦

3202. 石灰石砕石の微粒分量がコンクリート性状に及ぼす影響に関する検討

住友大阪セメント㈱ ○宮 薗 雅 裕 勝 山 正 彦

3203. 石灰石に付着する微粉末量が断熱温度上昇量と強度 発現におよぼす影響

> 山口大学大学院 ○吉 本 勝 哉 吉 武 勇

> 萩森興産㈱ 吉 岡 国 和 鳥取大学大学院 井 上 正 一

3204. 廃コンクリート微粉末を用いたコンクリートの基本的性状

清水建設㈱ ○片 山 行 雄 黒 田 泰 弘

3205. 廃コンクリート微粉末を用いた造粒物の配合と諸性状

清水建設㈱ ○黒 田 泰 弘 内 山 伸

〈休憩 10:00~10:15〉

*

〈休憩 10:15~10:30〉

9:00~10:00 研究発表 3301~3304

〔フレッシュコンクリート (流動性)〕

3301. 高温のセメントを用いたフレッシュセメントペーストの性状について

 山口大学大学院 萩森興産㈱
 ○弓 吉 吉 岡 垣
 削 国 五 七 山
 植 石 和

 七 山口大学大学院
 古 吉 武
 武 五

3302. 回転翼型粘度計で測定されるせん断応力の変化特性に着目した吹付けモルタルの品質評価指標

大分工業高等専門学校 九州工業大学大学院 東亜コンサルタント(株) (株)さとうベネック 第 藤 誠

3303. 回転粘度計を用いたフレッシュモルタルのダイラタンシー特性の定量化に関する基礎的研究 (その1:実験の概要およびせん断応力の変化特性)

三重大学大学院 〇三 島 直 生 畑 中 重 光 横 山 達 資

3304. 回転粘度計を用いたフレッシュモルタルのダイラタンシー特性の定量化に関する基礎的研究 (202: 27 - 2) 関係および経時変化特性)

三重大学大学院 三 島 直 生 畑 中 重 光 ○横 山 達 資

〈休憩 10:00~10:15〉

第2会場(3階富士D)

10:15~11:15 研究発表 3105~3108

[分析技術]

*3105. 高炉セメント及び水和高炉セメントペースト中の未 反応高炉スラグの定量

(株デイ・シイ 岩手大学工学部 (株)デイ・シイ 回 別 清 を 祐 元 様 満 選 渕 清

3106. 粉末X線回折/リートベルト解析を応用した高炉セメント中の高炉スラグの迅速定量

三菱マテリアル㈱ ○中 西 陽一郎 古 賀 康 男

品 中 次 次 物 大 順 生

3107. 粉末中性子回折装置によるセメント結晶構造の同定

 (株)E-マテリアル
 ○入
 江
 正
 明

 NPO法人
 緑と水の協会
 鬼
 頭
 誠

 日本貨物鉄道(株)
 三
 枝
 長
 生

 (株)ダイフレックス
 増
 田
 健
 康

3108. 高磁場21.8T-固体⁴³Ca, ²⁷AI NMRによるトバモラ イト構造解析

> 旭化成㈱ ○橋 本 康 博 名 雪 三 依

 10:30~11:45 研究発表 3206~3210

〔リサイクル, その他〕

3206. 溶融スラグ細骨材を使用したコンクリートの基礎的 性状

住友大阪セメント(株)

岡本 英裕良 明一恵三 ○喜 多

3207. 溶融方法の異なる溶融スラグのコンクリート用細骨材としての利用

東海大学大学院 ○岩 崎 勝 麻 東海大学海洋学部 迫 田 惠 三 ㈱エヌジェイ・エコサービス 関 勇 治

3208. 低品質再生粗骨材および改質石炭灰を用いたコンクリートの特性に関する研究

(株)ゼロテクノコンサル 上 田 賢 司

3209. 廃硫酸による廃コンクリート微粉末からの素材分離

東京工業大学大学院 〇新 島 瞬 清水建設㈱ 竹 本 喜 昭

東京工業大学応用セラミックス研究所 赤 津 隆 東京工業大学建築物理研究センター 田 中 享 二

3210. 初期養生温度が改良土の強度に与える影響

住友大阪セメント(株) 〇佐 藤 貴 宣

〈昼休み 11:15~12:15〉

(終了 11:45)

*

10:15~11:30 研究発表 3305~3309

〔フレッシュコンクリート (流動性)〕

3305. 高濃度分散系の流動性におけるせん断履歴挙動に関する研究

 北海道大学大学院
 〇後 藤
 卓

 島
 翔 一

 名
 和 豊 春

3306. セメント粒子の凝集状態とペーストのレオロジー特性に関する研究

3307. 粒度調整セメント―超微粒子系の流動性と水熱反応

東京工業大学大学院 太平洋セメント㈱ 黒 川 大 亮 東京工業大学大学院 坂 井 悦 郎 ○中 澤 拓 也

3308. 石灰石微粉末を添加した高炉スラグ高含有セメント の流動性と初期水和

> 東京工業大学大学院 増 田 佳 介 室蘭工業大学大学院 ○新 大 軌 (㈱デイ・シイ 鯉 渕 清 東京工業大学大学院 坂 井 悦 郎

3309. 混合材を添加したアルミネート高含有セメントの流動性と水和特性

東京工業大学大学院 一瀬 龍太朗 坂 井 悦 郎 宇部興産(株) 〇丸 屋 英 二

(終了 11:30)

第1会場(3階富士ABC)

12:15~13:45 基調講演 セメント・コンクリートへの画像解析の応用 スイス ローザンヌ工科大学 Karen Scrivener 教授

〈休憩 13:45~14:00〉

14:00~15:15 研究発表 3109~3113

〔分析技術 (英語セッション)〕

3109. セメントペーストの反射電子像の分解能が語るシナリオ

金沢大学理工学域 〇五十嵐 心 一

3110. グレーレベルのシフト量に着目したセメントペース トの水セメント比の推定

五洋建設㈱ \bigcirc Dang Giang Hoang 金沢大学理工学域 \bigcirc 五十嵐 \bigcirc \bigcirc

3111. 画像解析を用いたコンクリートの配合推定に関する 検討

> 太平洋セメント㈱ ○高 橋 晴 香 鵜 澤 正 美 山 田 一 夫

3112. Reconstructing three-dimensional spatial model of blended cement pastes by using backscattered electron image

北海道大学大学院 〇胡桃澤 清 文 名 和 豊 春

3113. Effect of Curing conditions on the Microstructure

*

芝浦工業大学 〇伊代田 岳 史 魚 本 健 人 15:30~16:30 研究発表 3114~3117

〔分析技術 (英語セッション)〕

3114. Quantitative Determination of Blast Furnace Slag Content in Cement by Novel Heat-treated XRD/ Rietveld Method

日鐵セメント㈱ ○佐 川 孝 広 北海道大学大学院 名 和 豊 春

3115. Morphology of α'_{H} -Ca₂SiO₄ Solid Solution Crystals

名古屋工業大学大学院 ○福 田 功一郎

3116. ²H NMRとDSCによるセメント硬化体内水分の動的 存在状態の測定

北海道大学大学院 ○湊 大 輔 文 神 敏 文 卓 春 和 豊 春

3117. フライアッシュモルタル中のフライアッシュ量の推定

 北海道大学大学院
 〇山
 本
 準
 紀

 川
 上
 博
 行

 名
 和
 豊
 春

清水建設(株) 西田 朗

16:30~17:00 意見交換 総括

〈休憩 15:15~15:30〉 (終了 17:00)

5月27日(木)

● 特 別 講 演 ●

地図の上で考える日本の自然と社会と文化 財団法人日本地図センター 理事長 野々村 邦夫 氏

● 基 調 講 演 ●

セメント・コンクリートへの画像解析の応用 スイス ローザンヌエ科大学 Karen Scrivener 教授

● 講演要旨のご案内 ●

第64回セメント技術大会全講演の講演要旨を掲載 2010年5月上旬発行予定(大会開催前に販売いたします)A4判・5,000円(税込み)

セメント・コンクリート論文集 No.63 / 2009



Cement Science and Concrete Technology

A4判・627ページ・11.000円(税込)・送料実費

セメント技術大会での発表論文に限定することなく、広く公募した論文を、論文集編集委員会が厳選したセメント・コンクリート関係の論文85編を掲載。全ての論文に英語のABSTRACTを添えるとともに、巻末に著者名およびキーワード索引を加えて、検索しやすい構成にしています。

図書のご注文・お問い合わせは

社団法人セメント協会 図書販売係 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-4 ダヴィンチ桜橋 7階 ☎03-3523-2736 風03-3523-2700

「セメント技術大会懇親会」(有料)のご案内

「第64回セメント技術大会」の開催に当たり、参加各位の交流を目的に下記のとおり懇親会を開催いたします。

発表者・共同研究者および一般聴講者の方々にも広くご出席をいただきたくご案内申し上げます。

昨年まで、発表者の方はご招待しておりましたが、業界を取り巻く諸般の事情により今 回の懇親会につきましては、参加者すべての方に費用の一部をご負担いただくことといた しました。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時:2010年5月26日(水)17時30分~19時

2. 場 所: ホテルメトロポリタン (3階富士)

東京都豊島区西池袋1-6-1 TEL. 03-3980-1111

3. 会 費:3,000円

4. **申込方法**:「氏名、勤務先(学校)、電話番号、E-mail」を明記のうえ、下記にお申

込み下さい。

なお、<u>会費は当日徴収とさせていただきますが、参加者数把握のため、</u>できるだけ事前にお申込みいただきますようお願いいたします。

セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail: jcapi@jcassoc.or.jp

※E-mailでの申込みが不可能な場合は、申込書に記入しFAXにて送信下さい。

セメント協会 研究所 技術情報グループ 行 (FAX. 03-3914-2690)

セメント技術大会懇親会参加申込書

1	氏名	
2	勤務先(学校)	
3	電話番号	
4	FAX	





ホテルメトロポリタン案内図

東京都豊島区西池袋1-6-1 **☎**03-3980-1111

◎交通のご案内

池袋駅西口から徒歩約3分

- ●JR 山手線,埼京線
- ●東京メトロ 丸の内線, 有楽町線, 副都心線
- ●西武 池袋線●東武 東上線

